



令和6年7月8日(月)発行

自分で決める夏休みの過ごし方

今年度から夏休みは、日誌以外の宿題を出しません。(一部の学年は、この季節にしかできない植物の観察をおこないます。例年の作品募集は、自由参加です。)



夏休みは、子どもたちが学校の日常から離れて、新しいことを学び、自分自身を発見する絶好の機会です。一律の宿題をなくすことで、子どもたちの主体性を育むことができます。夏休みだからといって、学ぶことを止めるわけではありません。むしろ、自分のために、自分が本当に興味をもっていることを探究する時間を増やしてほしいと願っています。もちろん、自分の得意なことを伸ばしたり、苦手なことに集中して取り組んだりすることもよいと思います。自分で選んだ活動に取り組むことで、子どもたちは自己管理能力を高め、問題解決能力を身に付け、自分の学びに対する責任感を深めることができます。

夏休みに自分で計画を立て、主体的に学びを進めることで、子どもたちが自分の学びをコントロールし、生涯にわたる学習者としての基盤を築く手助けとなると考えています。



また、ご家庭での貴重な時間を共有し、お子さまの成長をサポートする機会も増えることと思います。皆さまのご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

こんなチャレンジはどうでしょう

夏休みは、普段できないことにチャレンジする絶好の機会です。お子さまに合わせたチャレンジをご家庭で一緒に計画するなどご支援をよろしくお願いいたします。

- ・ 読書に挑戦(本をたくさん読む機会)
- ・ 自然観察をする(近くの公園や山、川に出かけて、植物や昆虫、鳥などを観察)
- ・ 手芸やクラフト(工作)に挑戦(手先を使った活動が好きなら、挑戦)
- ・ 楽器に挑戦する(自分が興味のある楽器、曲を選んで練習)
- ・ 自分の目標を達成する(得意な教科を伸ばす、苦手な教科を復習する、漢字の学習など自分の目標達成に挑戦)

夏休みのチャレンジを「自分のため」に変えてみると、学びはもっと楽しく、意味のあるものになります。そして、学校が始まる頃には、新しいことをたくさん経験して、子どもたちにとって価値のある夏になっているはずです。

